

茨城県景気ウォッチャー調査結果（令和4年3月調査）

茨城県では、本県の景気に関する生の情報を得るために、県民から景気の状態を3か月ごとにアンケートで情報収集する県独自の景気ウォッチャー調査を平成14年から行っています。

この度、令和4年3月の調査結果がまとまりましたので、概要を以下のとおり公表します。

1 調査結果

～ 景気の現状判断DIは前回調査から大きく低下 ～

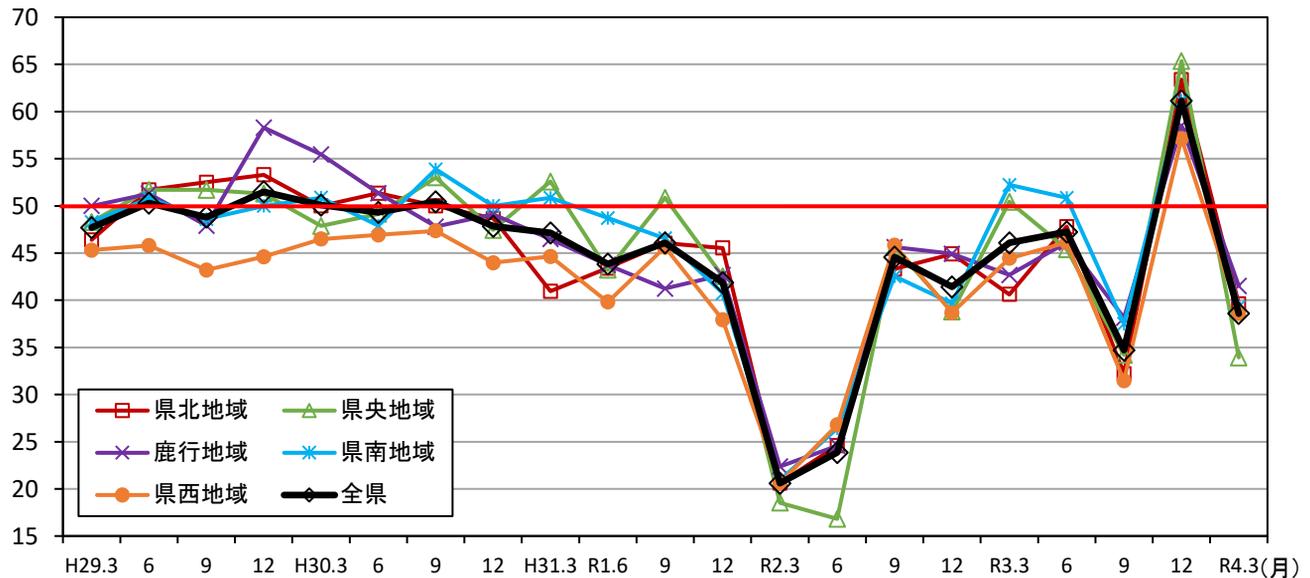
☆ここがポイント

区分	景気現状判断DI		景気先行き判断DI		※DI (Diffusion Index) 景気動向を判断するために使用される指標の1つ。景気 directional (景気が上向きか下向きか) を見るもの。 本調査では、回答を5つの区分ごとに点数で表し、その点数を回答構成比 (%) で乗じてDIを算出している。 <参考> DI値50超 : 上向き DI値50 : 横ばい DI値50未満 : 下向き
	3月調査結果	前回調査との差	3月調査結果	前回調査との差	
県全体	38.6	-22.6	46.6	-5.6	
県北	39.6	-23.8	43.9	-6.1	
県央	33.9	-31.5	49.1	-6.2	
鹿行	41.5	-17.0	49.1	-1.4	
県南	39.3	-21.9	47.3	-8.1	
県西	38.6	-18.5	43.4	-6.6	

○県全体の景気現状判断DIは前回調査から大きく低下し、2期ぶりに50を下回った。先行き判断DIについては5期ぶりに50を下回った。

○ウォッチャーからは、現状判断では新型コロナウイルスに関するコメントが、先行き判断ではウクライナ情勢に関するコメントが、多く寄せられた。

(DI) 景気の現状判断DIの推移（地域別）



〔調査の概要〕

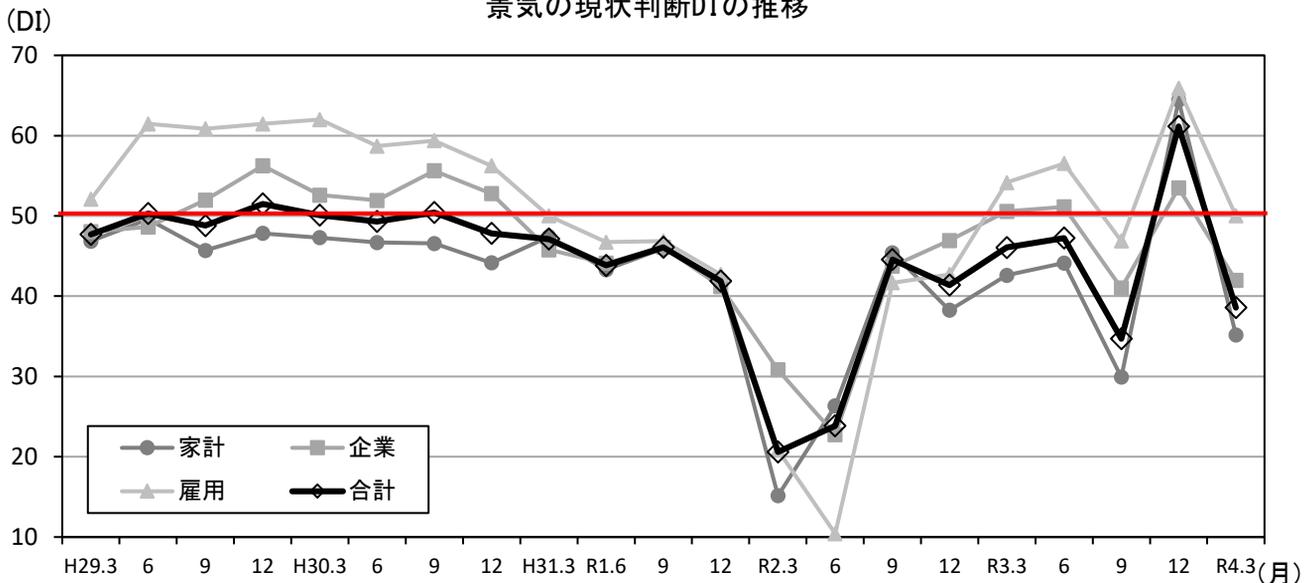
- ・ 調査客数 … 県内5地域（県北、県央、鹿行、県南、県西）ごとに60名、計300名。
- ・ 調査内容 … 3か月前と比較した現状及び3か月後の先行きの景気判断（「良い」「やや良い」「変わらない」「やや悪い」「悪い」の5択）とその判断理由（コメント）の回答を集計。
- ・ 調査時期 … 四半期（6、9、12、3月）毎に実施し、翌月公表。（今回調査期間：令和4年3月5日から20日まで）
- ・ 回答率 … 92.7%（300名中278名から回答）

（地域区分）
 県北地域：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、東海村、大子町
 県央地域：水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町
 鹿行地域：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
 県南地域：土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
 県西地域：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

2 県全体の動向

(1) 現状判断DI

景気の現状判断DIの推移



分野	調査年月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月
合計		46.1	47.3	34.7	61.2	38.6
家計動向関連		42.6	44.1	29.9	64.4	35.2
小売関連		41.7	38.7	29.3	53.2	33.6
飲食関連		28.9	42.7	12.5	72.7	27.2
サービス関連		45.9	49.7	33.1	75.4	38.5
住宅関連		53.1	44.4	50.0	46.9	40.6
企業動向関連		50.6	51.1	41.0	53.5	42.0
農林水産業		50.0	54.2	45.8	57.1	34.4
製造業		51.6	49.5	38.5	53.1	41.7
非製造業		49.2	52.9	43.6	53.2	44.1
雇用関連		54.2	56.5	46.9	65.9	50.0

景気の現状判断DIは38.6となりました。前回調査より22.6ポイント低下し、横ばいを表す50を2期ぶりに下回りました。

家計動向関連DIは、前回調査より29.2ポイント低下し、2期ぶりに50を下回りました。

企業動向関連DIは、前回調査より11.5ポイント低下し、2期ぶりに50を下回りました。

雇用関連DIは、前回調査より15.9ポイント低下し、50となりました。

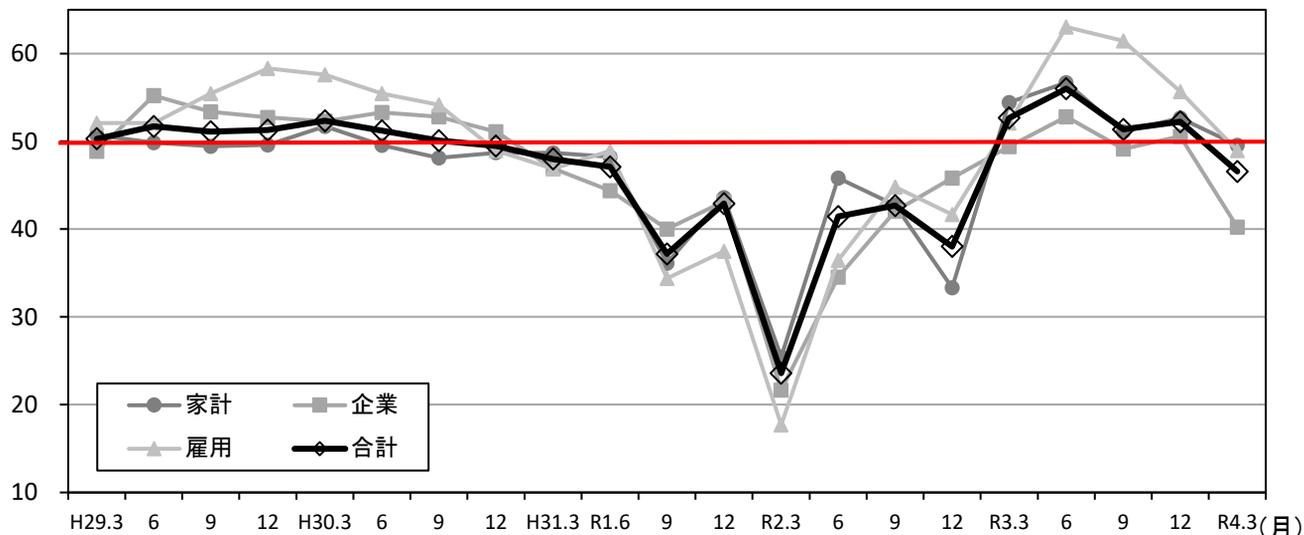
《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・(県北：酒・各種商品小売業) まん延防止等重点措置の影響で夜の飲食店のほとんどが営業してないため、当然当店の売上げも激減しているため、悪くなっていると判断した。
- ・(県央：製造業(印刷・同関連業)) コロナ禍のまん延防止等重点措置期間であり、思うように営業展開が出来ていないため、やや悪くなっていると判断した。
- ・(鹿行：住宅販売会社) 貸家、アパートの入居率が落ちている。問合せ及び入居する物件が安い価格帯に限られるため、やや悪くなっていると判断した。
- ・(県南：公共職業安定所) 3か月前と比較し求人数は微増。製造業、医療、福祉業からの求人は、人手不足感から3か月前から変わらずに多い。
- ・(県西：製造業(金属製品)) 取引先での半導体に関連した部品の入手が難しく、生産調整され受注が鈍くなったので、悪くなっていると判断した。

(2) 先行き判断DI

(DI)

景気の先行き判断DIの推移



分野	調査年月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月
合計		52.7	56.0	51.4	52.2	46.6
家計動向関連		54.4	56.7	51.1	52.6	49.5
小売関連		51.4	52.1	48.6	49.6	48.4
飲食関連		55.3	58.3	46.6	58.0	46.6
サービス関連		57.2	63.7	56.8	54.7	52.1
住宅関連		53.1	30.6	33.3	46.9	43.8
企業動向関連		49.4	52.8	49.2	50.6	40.2
農林水産業		53.6	50.0	41.7	50.0	31.3
製造業		46.8	53.1	47.4	48.4	40.0
非製造業		52.3	52.9	52.9	54.0	42.6
雇用関連		52.1	63.0	61.5	55.7	49.0

景気の先行き判断DIは46.6となりました。前回調査より5.6ポイント低下し、横ばいを表す50を5期ぶりに下回りました。

家計動向関連DIは、前回調査より3.1ポイント低下し、5期ぶりに50を下回りました。

企業動向関連DIは、前回調査より10.4ポイント低下し、2期ぶりに50を下回りました。

雇用関連DIは、前回調査より6.7ポイント低下し、5期ぶりに50を下回りました。

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・(県北:スーパー) 基本商品の値上げが増加して、買控えが見られる。必要でない商品の買上げ減のため、やや悪くなっていると判断する。
- ・(県央:運輸業(道路貨物運送業)) コンテナ不足による輸出入の遅延・キャンセルは長引くと思われ、貨物の停滞が予測される。また、燃料価格の高騰による経費増が響いてくると思われるため、やや悪くなっていると判断する。
- ・(鹿行:求人开拓員) 諸材料の値段がいつ頃収まるのか、新型コロナウイルスの感染はいつまで続くのか、見通しがつかないと将来の景気は予想がつかないため、変わらないと判断する。
- ・(県南:製造業(非鉄金属)) 半導体不足の改善が不透明な中、ロシアのウクライナ侵攻により、原材料や燃料の高騰が予想されるため、やや悪くなっていると判断する。
- ・(県西:レジャー施設) 新型コロナウイルスのまん延、世界情勢などまだ全体的な不安要素が多く、消費活動も低い水準が継続すると思われるため、変わらないと判断する。

3 地域別の動向（※調査結果はP.1参照）

（1）県北地域

- ① **現状判断：** 景気の現状判断DIは39.6となりました。前回調査より23.8ポイント低下して、横ばいを表す50を2期ぶりに下回りました。

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（小売業（酒類））新型コロナウイルスの影響により、今月もまん延防止等重点措置のため時短営業になり、商売に大きな影響があるため、悪くなっていると判断した。
- ・（学校就業関係者）以前は、学生の求人情合せが製造業を中心に企業から毎週数回あったが、最近はそのほとんどなくなったため、やや悪くなっていると判断した。

- ② **先行き判断：** 景気の先行き判断DIは43.9となりました。前回調査より6.1ポイント低下して、横ばいを表す50を2期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（商店街代表者）新型コロナウイルスは収束に向かっているが、資材の値上がりが激しく新規の商談が進まないため変わらないと判断する。
- ・（建設業）世界情勢や新型コロナウイルスの感染状況の不安から、消費活動は控え目になると思うので、景気はやや悪くなっていると判断する。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（製造業（電気機械器具））納期が見通せない物品がある。LEDの照明器具については、メーカーからの納期回答が出ず、入替が計画通り進まない状況である。
- ・（学校就業関係者）学生の実習消耗品の購入にあたり、コロナ禍の影響で、中国や東南アジアで製造している電気・電子機器類及び金属材料の値上げや納品の遅れが顕著になっている。

（2）県央地域

- ① **現状判断：** 景気の現状判断DIは33.9となりました。前回調査より31.5ポイント低下して、横ばいを表す50を2期ぶりに下回りました。

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（小売業）長引くまん延防止等重点措置の適用により客足がめっきり減っているため、悪くなっていると判断した。
- ・（学校就業関係者）コロナ禍の収束見通しが立たず、ウクライナ情勢もあり様々な物価が高騰しているため、やや悪くなっていると判断した。

- ② **先行き判断：** 景気の先行き判断DIは49.1となりました。前回調査より6.2ポイント低下して、横ばいを表す50を5期ぶりに下回りました。

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（農産物直売所）ガソリン価格が落ち着かないと遠方からの客の来店数減が続き、各種食品の値上げから買控えもしばらく続くと思われるため、変わらないと判断する。
- ・（製造業（精密機械器具））現状の部材不足は対策し何とか凌いでいるが、情報によると4月以降も部分的にあるようだ。その場合、対応出来るかどうか不透明なため、やや悪くなっていると判断する。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（小売業）コロナ禍による行動範囲の縮小により、都内等での買物を県内で済ます傾向が今も続いている。
- ・（公共職業安定所）緊急事態宣言、まん延防止等重点措置で解雇等を行ったところが徐々に人手不足になり、求人活動を再開している。

(3) 鹿行地域

- ① **現状判断:** 景気の現状判断DIは41.5となりました。前回調査より17.0ポイント低下して、横ばいを表す50を2期ぶりに下回りました。

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・(運転代行) 異動の時期でありながら、新型コロナウイルスの影響で3か月前と比較し伸び率が非常に悪くなっているため、景気は悪くなっていると判断した。
- ・(製造業(電気機械器具)) 主力の自動車部分品の落ち込みが激しいため、やや悪くなっていると判断した。

- ② **先行き判断:** 景気の先行き判断DIは49.1となりました。前回調査より1.4ポイント低下して、横ばいを表す50を5期ぶりに下回りました。

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・(農業関係者) 国際情勢の政情不安により原油高や原材料の高騰で、さらに農業関連資材が上がり、今後景気の足かせになると思われる。今後しばらくは景気が良くなるとは思えないため、やや悪くなっていると判断する。
- ・(人材派遣業) 短期的な受注について複数の業界から問合せが来ているため、やや良くなっていると判断する。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・(金融業) ウッドショックやロシア危機による原油高の影響により、あらゆる資材等が高騰していると聞いているが、住宅ローンの新築に関する相談は増えているように感じる。
- ・(製造業(化学工業)) 大手鉄鋼メーカーとの取引が不安定だが、短期的には忙しさがある。

(4) 県南地域

- ① **現状判断:** 景気の現状判断DIは39.3となりました。前回調査より21.9ポイント低下して、横ばいを表す50を2期ぶりに下回りました。

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・(求人広告) 例年景気の良さを感じる年度末がさほど良くなく、年末の方が仕事の発注量も多かったため、悪くなっていると判断した。
- ・(製造業(窯業・土石製品)) 原材料費の値上げ、製品単価への転嫁の遅れにより利益率が下がっているため、やや悪くなっていると判断した。

- ② **先行き判断:** 景気の先行き判断DIは47.3となりました。前回調査より8.1ポイント低下して、横ばいを表す50を5期ぶりに下回りました。

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・(サービスエリア) 新型コロナウイルスの影響がいくらか減少していれば消費は増えるかもしれないが、物価の高騰がより深刻なものとなり、景気を鈍らせると思われるため、やや悪くなっていると判断する。
- ・(求人開拓員) 新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置が、3月21日に解除される見込みであることから、3か月先の景気は、今月よりやや良くなっていると予想する。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・(ゴルフ場) ゴルフ場では予約状況などから景気は上向いているように思える。しかし、来場メンバーなどの話では世界情勢(ウクライナ侵攻)の進捗、燃料の高騰など景気の動向に影響が大きい要素が多く、今後の景気は不確定な部分も多いと思われる。
- ・(テーマパーク職員) 屋外型のレジャー施設を新たに新設したいという問合せが、民間、自治体ともに多く耳にするようになっている。コロナ渦でも集客、収益を出せるような仕組みに切り替えようというようにも感じられる。弊施設のような屋外型でアウトドアという業種には景気が良くなっていく傾向にあるのではと思う。

(5) 県西地域

- ① **現状判断:** 景気の現状判断DIは38.6となりました。前回調査より18.5ポイント低下して、横ばいを表す50を2期ぶりに下回りました。

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・(自動車販売店) 新型コロナウイルスも落ち着かず、製造現場での遅れにより商品がない。原油高騰により、物価が高くなっているため、悪くなっていると判断した。
- ・(製造業(非鉄金属)) 製品の販売先であるメーカーが生産を停止。新型コロナウイルスの影響で部品不足やクラスター等があるため、やや悪くなっていると判断した。

- ② **先行き判断:** 景気の先行き判断DIは43.4となりました。前回調査より6.6ポイント低下して、横ばいを表す50を2期ぶりに下回りました。

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・(建設業) 資材の入荷が進まないなどもあり、利益率の減少傾向もあり、景気はやや悪くなっていると判断する。
- ・(学校就業関係者) 生徒数が減少傾向、求人企業数は多いが、業種により人手不足が続くと思われるため、変わらないと判断する。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・(食堂) 新型コロナウイルスの影響で店の経営が回復しないため、店の体力が限界になり近隣店舗が閉店している。
- ・(求人開拓員) 人手不足を訴える企業(建設・土木業、福祉事業所)から当センターの求人票登録のための訪問が多かった。

4 多く寄せられたキーワード

以下では、ウォッチャーから寄せられた回答の中で多く見られたキーワードや、前回から増加したキーワードを含むコメントを掲載しています。

- ・「新型コロナウイルス」に関するコメント 162件(県北:31 県央:34 鹿行:35 県南:31 県西:31)

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・(観光型ホテル) 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、予約が減っているため悪くなっていると判断した。
- ・(小売業(書店)) 新型コロナウイルスの影響で客足が鈍くなっている。学生が出歩かなくなっているため、悪くなっていると判断した。

- ・「まん延防止等重点措置」に関するコメント 83件(県北:15 県央:23 鹿行:16 県南:17 県西:12)

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・(ボウリング場) 現在まん延防止等重点措置がとられているが、全く見通しの立たないコロナ禍の長期化で、景気にもほとんど動きが感じられない。
- ・(食堂) まん延防止等重点措置による来客数の減少、仕入れ価格高騰により原価上昇による利益の圧迫のため、やや悪くなっていると判断した。

- ・「ロシア、ウクライナ」に関するコメント 83件(県北:9 県央:23 鹿行:24 県南:20 県西:7)

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・(理・美容店) ロシアのウクライナ侵略で、衣食住に関連したものすべてが値上げされ出費を控えると思うので、やや悪くなっていると判断する。
- ・(住宅販売会社) コロナ禍、ロシアのウクライナ侵攻、日鉄の高炉閉鎖、暗いニュースが続き、景気はやや悪くなっていると判断する。

(注) より詳しい情報については、当課ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/bukka/watch/index.html>